

いほっと通信



2015年9月号 VOL. 39

発行 市原市市民活動センター

管理運営 市原市社会福祉協議会

所在地 〒290-0081

千葉県市原市五井中央西2-22-4

☎ 0436-20-3100 fax 0436-20-3113

Email VC@ichihara-shakyo.or.jp

特集
セカンドライフを楽しむ



セカンドライフを楽しむ

平成18年に高年齢者雇用安定法が改正され、再雇用や継続雇用など、定年後も仕事をされる方が多くなっています。

また、定年を機に家族との時間を大切にする方、「育じい」を目指す方・・・時間の使い方はそれぞれですが、今回はその貴重な時間で社会貢献活動を行い、充実したセカンドライフを送っている方々が活躍している団体の一部をご紹介します。

おもちゃ病院いちほら



月に1回開設されるおもちゃ病院では、壊れたおもちゃの修理を行っています。ドクターは定年退職された”お父さん”たち。「なるほど！こういう仕組みで動くのか」とドクターたちの目は輝いています。

製造関係の仕事をしていた井出さんも、退職後に誘われて、おもちゃ病院のドクターとしてボランティア活動を始めました。「ただ機械いじりが好きなんです」と言いながら、仮面ライダーの変身ベルトを一生懸命に修理していました。

壊れたおもちゃの修理は随時受け付けていますが、「できるだけ当日に持ってきてほしい」とのこと。壊れる前の状態や、どのように直してほしいか等、直接確認が取れることはもちろん、目の前でおもちゃが甦った時の“子供たちの笑顔が何よりの報酬”なのだそうです。



この日は、インターネットで知り初めて来た方もいましたが、おもちゃ病院の利用者はリピーターの方がほとんど。「壊れてしまったら、まず『病院で診てもらおうね』といって修理をお願いします。子どもたちも以前よりおもちゃを大事に扱うようになりました」と話すお母さん。

また、最近のおもちゃは複雑な仕様のものが多く、「これはどうやって遊ぶの？」とドクターが子どもたちに教えてもらう場面も。

こんな世代間交流もボランティア活動の醍醐味ですね。



Point!

充電式電池は通常の乾電池より電圧が低いため、特にモーターを動力とするおもちゃには不向きです。「故障かな？」と思ったらまずは電池を確認しましょう！また、しばらく使わないおもちゃは電池を外しておく習慣をつけましょう。（液漏れし、故障の原因となります。）

ドクターの使用する道具はすべて自前でそろえたもの。細かい部品もサイズごとに大事にとっておきます。壊れて使わなくなったおもちゃ等も誰かの役に立っています。ご家庭にご不要なおもちゃがありましたら是非ご寄附ください。



この『のぼり』が目印！

おもちゃ病院いちほら

毎月第1金曜日 13:00~16:00

※定期開院日以外は日曜、祝日を除き10:00~16:00も受付けております。

場所：市民活動センター（iほっと）五井中央西2-22-4 TEL：20-3100

※その他、三和保健福祉センター（サンハート）海土有木225-4でも受付けております TEL：37-7100

SaToYaMa よくし隊



平成17年に発足された「SaToYaMa よくし隊」は、不入斗（市原市姉崎地区）にある山林でさまざまな活動を行っています。

間伐材を用いて竹の表札や竹とんぼなど竹工芸品の作成、畑づくり、炭焼き小屋での竹炭作り…。山の保全整備を行う代わりに、メンバーそれぞれのやりたいこと、趣味や特技を生かした活動に取り組んできた結果、現在はその幅を広げ、エコフェアなどのイベントへの出展、地元公民館での講座開催など社会貢献活動へとつながっています。



周辺の有秋地区は、京葉工業地帯の社宅団地や社宅跡への新興住宅地開発など人口流動が多く、地縁・血縁のつながりが希薄な地域性が特徴です。

定年を迎えた団塊世代の生きがいつくり、地域との絆づくりにもなるようにと、積極的に団塊世代の参加を呼びかけています。

また、地域住民を招待しての筍パーティーや芋煮会、手作りの石窯で焼くピザパーティーも毎年大変好評で、団体の活動を知ってもらうだけでなく、新たな活動者の発掘にもつながっているそうです。



里山フィールド入口



手作りの里山遊園地は子どもたちに大人気！大人も思わず童心に返って夢中になってしまいます。



間伐材を運ぶロープウェーだって、もちろん手作りです。



近隣小学校の環境学習にも協力しています。山で遊ぶ機会がほとんどない現代の子どもたちにとって、里山での活動は貴重な体験です。



活動情報宝箱

近々の市民活動に関する情報
および助成金情報を掲載いた
します。

(お問合せ・申込は、各情報の問合せ先にご連絡をお願いいたします。)

ボランティア募集！

(住宅型有料老人ホーム友乃家)

介護サービスと基本的な生活支援をご提供する高齢者向け
の居住施設です。

ご都合の良い日、時間帯で構いませんので、皆様のご協力を
お待ちしております。

【場所】 在宅型有料老人ホーム 中高根友乃家
(中高根 1346-112)

【内容】 ・草取り(月1回程度)
・利用者の話し相手、散歩の付添い(週1回程度)
※車いすを押して散歩できる方を希望

【問合せ】 介護サービス友乃家(正野) ☎50-4131

「収集ボランティア」

はじめてみませんか？

収集ボランティアは、誰でも、いつでも、どこでも、気
軽にできるボランティア活動です。身近にある不要と
思えるものでも誰かの役に立つことができるかも！？

リーフレットを更新しましたので、興味のある方はお問い
合わせください。学校、企業など団体での活動にもお
勧めです。

【問合せ】 市民活動センター ☎20-3100

赤い羽根共同募金のお願い

ボランティアグループ「なかよし会」が赤い羽根ストラ
ップや市原市社会福祉協議会のマスコットキャラクター
「よつばちゃん」をモチーフにした可愛いグッズを作っ
てくれました。

市民活動センターにある募金箱に募金していただいた
方に先着で差し上げています。いろいろなデザインがあ
りますので、お目当てのグッズはお早めに！

雑巾さしあげます

市民のみなさんからご寄附いただいた雑巾を市民活動
センターでお預かりしています。雑巾を希望される施
設、団体は、事前に来訪日時、希望枚数をご連絡く
ださい。

【問合せ】 市民活動センター ☎20-3100

いちはら防災キャンプのお知らせ

いつ到来するかも知れない自然災害等の災害発生に備え
るため、身近なものを駆使して緊急時に対処する能力を養
います。

【日時】 平成27年11月29日(日)

9:30~16:00(9:00受付開始)

【会場】 市原市農業センター内バーベキュー広場付近
(安須 980)

【内容】 体験講習

- ①ロープワーク・テントの設営体験
- ②サラダ油を用いたオイルランプの製作体験
- ③ペットボトル活用方法
- ④新聞紙活用方法
- ⑤昼食、非常食体験

【対象】 市内の小学生

※1年~3年生については保護者同伴のこと

【定員】 30名

【参加費】 500円(保険代含む)

【申込み・問合せ】

特定非営利活動法人 ゆかいな仲間たち(白尾)

☎090-3069-9640 FAX43-3776

メール shirao@icntv.ne.jp

いちはらワイワイ広場

<http://waiwai.genki365.jp/>

市原市市民活動情報 WEB サイト 市民活動を応援するホームページです



♪ 第 11 回 ボランティアまつりのお知らせ ♪

ボランティアグループ(または個人)の親睦・交流を図るとともに、市民がボランティア活動参加に
一歩踏み出すきっかけを提供することを目的とした、ボランティアと地域住民のためのおまつりです。
子どもからシニアまで楽しめる内容ですので、皆さんお誘いあわせのうえ是非お越しください!

【日時】 11月14日(土) 10:00~15:00

【場所】 五井小学校体育館 ※上履きをご用意ください

【内容】 ★記念講演「おもちゃと遊びで地域を元気に!」

東京おもちゃ美術館 赤ちゃん木育事業部 石井今日子氏

★演奏・演舞

楽器演奏・伝統芸能等の発表、歌やゲームなど楽しい企画がもりだくさん!

★ものづくり体験と遊び

輪ゴム鉄砲やペットボトル風車、竹のおもちゃなど昔あそびがいっぱい!

★模擬店・バザー

喫茶・軽食・福祉ショップなど

★ボランティア相談・活動発表

ボランティアアドバイザーによる無料相談、活動体験発表など

★その他楽しい企画が盛りだくさん!

【問合せ】 ボランティアまつり実行委員会(市民活動センター内) ☎20-3100



助成金情報



生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金



- 【対象】 ①高齢者、障がい者、次世代育成、生活困窮者が暮らしやすい社会になるための事業
②高齢者、障がい者、次世代育成、生活困窮者が暮らしやすい社会になるための事業に必要な調査・研究 ③2016年4月1日~2017年3月31日の間に実施される事業
- 【助成金額】 助成総額200万円。1団体あたりの助成額は30万円(上限)。
- 【助成対象】 申請した事業実施に係る人件費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、備品費、印刷製本費、諸謝金等。
- 【申請方法】 所定の「助成事業申請書」に記入の上、郵送もしくは持参にて提出。
- 【受付期間】 平成27年10月20日(火)~11月10日(火) ※17時必着
- 【申請・問合せ】 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5-21-12 電話 043-270-4640

E-mail: info@chibanowafund.org ホームページ: <http://chibanowafund.org>

募集説明会を行います!

参加ご希望の方は、ちばのWA地域づくり基金まで事前にお申し込みください。(参加費無料)
9月29日(火)10:00~12:00 市原市市民活動センターコミュニティルーム



子どもの今と未来を支える基金



- 【対 象】 次のすべての条件を満たす事業
- ①千葉県内で行われる子どもを取り巻く様々な課題、特に貧困、虐待、孤立の実態に向き合い、解決に取り組む活動。新規事業の立ち上げも可
 - ②2016年1月1日から12月31日の間に実施される事業
 - ③次のいずれにも該当しない事業
 - ・実現可能性のない事業
 - ・営利を目的とする事業
 - ・個人的な活動や趣味的な活動
 - ・宗教活動や政治活動
- 【助成金額】 助成総額50万円。1団体あたりの助成額は20万円(上限)
- 【助成対象】 事業実施に係る経費(スタッフ人件費や活動のためにかかる家賃も対象)
- 【受付期間】 平成27年10月1日(木)～10月16日(金)※午後5時必着
- 【申請方法】 個別相談会にご参加の上、上記受付期間内に応募書類を郵送もしくは持参にて提出。(応募書類は下記ウェブサイトからダウンロードできます)
- *個別相談会* ※事前にメールまたはFAXでお申し込みください
- 日時: ①9月18日(金)②9月30日(水)③10月6日(火)いずれも10:00～16:00
- 場所: 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金事務所(千葉市美浜区真砂5-21-12)
- 【申請・問合せ先】 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
- 〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12 電話043-270-4640
- E-mail: info@chibanowafund.org ホームページ: <http://chibanowafund.org>



TOTO水環境基金



- 【対 象】 地域の水と暮らしの関係の再生または新しい文化の実現に向けた実践活動
- 【助成金額】 助成総額約1,050万円(予定)。1件につき80万円上限
- 【助成対象】 活動や事業に必要な経費(助成金額の20%まで人件費を含むことができます)
- 【助成期間】 平成28年4月1日～平成29年3月31日の1年間
- 【申込締切】 平成27年10月10日(土)当日消印有効
- 【申請方法】 ①応募書を手する
- ・TOTO水環境基金ホームページよりダウンロードする
 - ・郵便番号、住所、団体名、担当者、電話番号を記載し、FAXで郵送を依頼
- ②応募書(所定の様式)のすべての項目に記入する
- ③前年度の決算書、活動場所がわかる地図を添付して郵送する。(持ち込み不可)
- 【申請・問合せ先】 TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ 担当: 宗(そう)、曾根崎(そねざき)
- 〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1
- 電話093-951-2224 FAX093-951-2718
- <http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin.htm>



☞「市原市市民活動センターブログ」でも検索！

市原市市民活動センターで起こったちょっとした出来事や

市民活動に関する情報をライブでお伝えしています ☞ <http://blog.canpan.info/ihot/>



行事予定

日 時	内 容	主 催	費用	問合せ先
9月16日(水) 13:00~16:30	ひきこもり支援事業 わたしの居場所「自由空間」	NPO法人こころの相談室 いちほら	無料	21-0033
9月18日(金) 13:30~15:30	タッチ笑(エム)で脳の元気度 チェックしてみよう会	ボランティアグループ 「ドレミ」(笑って脳トレ)	無料	62-1158
9月24日(木) 9:00~12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
9月25日(金) 13:00~16:00	国際相談 (スペイン語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
10月2日(金) 13:00~16:00	おもちゃ病院	おもちゃ病院いちほら	部 品 代 は実費	20-3100
10月5日(月) 10:00~12:00	おしゃべりカフェ	市民活動センター	無料	20-3100
10月8日(木) 9:00~12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
10月9日(金) 13:00~16:00	国際相談 (スペイン語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
10月14日(水) 13:30~15:30	タッチ笑(エム)で脳の元気度 チェックしてみよう会	ボランティアグループ 「ドレミ」(笑って脳トレ)	無料	62-1158
10月22日(木) 9:00~12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
10月23日(金) 13:00~16:00	国際相談 (スペイン語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
10月28日(水) 13:00~16:30	ひきこもり支援事業 わたしの居場所「自由空間」	NPO法人こころの相談室 いちほら	無料	21-0033
11月6日(金) 13:00~16:00	おもちゃ病院	おもちゃ病院いちほら	部 品 代 は実費	20-3100
11月12日(木) 9:00~12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
11月13日(金) 13:00~16:00	国際相談 (スペイン語)	市原市役所人権・国際課	無料	23-9826
11月19日(木) 13:30~15:30	タッチ笑(エム)で脳の元気度 チェックしてみよう会	ボランティアグループ 「ドレミ」(笑って脳トレ)	無料	62-1158

7月～8月新規登録団体紹介

「健康塾」 食の大切さ、お茶やお花を通じた健康法についての普及活動を行っています。

ボランティア・市民活動団体登録状況

平成27年8月末日現在

ボランティアグループ	183 団体	4, 351 人
個人	—	177 人
合計	183 団体	4, 528 人



市原市市民活動センターをご利用ください！

利用日時

月曜日～土曜日→午前9時～午後9時、日曜日→午前9時～午後5時

利用対象

市内で市民活動を行っている（行おうとしている）団体・個人はもちろん、市内に在勤・在学の方で市民活動に伴う会議、研修及び地域福祉を推進するための活動などに利用できます。

※平日・土曜の夜間及び日曜日の利用は、利用日の前月1日までにセンターに申し込んでください。

貸出施設など

貸出等施設及び利用形態	
1F	会議室（20～30名）
	フリースペース
	多目的室A（20名以内）
2F	多目的室B（10名以内）
	作業室
	コミュニティルーム（80名以内）

市民活動センター案内図



市民活動センターの窓口に響くスズムシの声。送迎ボランティアの1さんから秋をおすそ分けしてもらいました。

みなさんも是非きれいな音色を聴きに市民活動センターへお越しください。

「i ほっと通信」はこちらで入手できます

行政機関など

市役所、各支所、各公民館、各コミュニティセンター、市民会館、サンプラザ市原、福祉会館、ゼットエー武道場、YOUホール、各保健福祉センター、いちほら福祉ネット、保健センター、中央図書館、青少年会館、若宮団地連合自治会館、椎の木自治会館

郵便局

市原・姉崎・市原南郵便局

お店

スーパーマーケットたかはし、アピタ市原店、スーパーマーケットしげのや、イトーヨーカドー姉崎店、マックスバリュート辰巳台店、スーパーわかば、酒屋「榊原屋」（上高根）、居酒屋「石狩」（姉崎）、アートおおがき（五井金杉）、美容室「ルーム」（西国分寺台）、美容室「ピュアルーム」（八幡）

*市原市社会福祉協議会ホームページからもダウンロードできます。バックナンバーもあります。

<http://www.ichihara-shakyo.or.jp/>

*市役所ホームページからもダウンロードできます。

トップページ⇒くらしの情報⇒市民活動・NPO・ボランティア⇒NPO・ボランティア⇒市民活動センター
<http://www.city.ichihara.chiba.jp/>

市民活動センターからのお知らせ

平成27年9月30日(水)は全館清掃のため、すべての貸館および情報コーナーなどの解放を中止させていただきます。

お電話でのお問い合わせ、ボランティア派遣依頼などには通常通り対応しておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

表紙絵紹介 作者：小栗祐子さん（五井在住）

元幼稚園教諭のスキルを活かし、友人の出産祝いなどに手作りカードなどをプレゼントしているとのこと。すべて手作業で相手のイメージに合わせて作るそうです。心のこもった手作りカード、もらった方の喜ぶ顔が目につきますね。

